



## 東京マラソン財団／お知らせ

本日（6月30日）、一般財団法人東京マラソン財団の理事会にて、東京マラソン 2016 の大会要項が決定しましたので、お知らせいたします。併せて、10 回記念大会プロジェクト等についても下記のとおりお知らせします。

### 記

- 東京マラソン 2016 大会要項 (資料 1)
- 10 回記念大会プロジェクトについて (資料 2)
  - ・大会ロゴリニューアルについて (資料 3)
  - ・車いす国際レース実施について (資料 4)
  - ・RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016 について (資料 5)
- 寄付金及びチャリティランナー募集について (資料 6)
- スポーツレガシー事業について (資料 7)
- オフィシャルパートナーについて (資料 8)
- 東京マラソン EXPO2016 出展社募集について (資料 9)

●10 回記念大会プロジェクト

**東京マラソン2016**  
**10 回記念大会プロジェクトについて**

2007 年からスタートして以来、東京マラソンは 2016 大会で 10 回目の節目を迎えます。東京マラソン財団では、この記念すべき 10 回大会を次の 10 年に向けた新たなスタートと位置づけ、10 回記念大会プロジェクトとして将来に向けた新たな取り組みを始めます。以下の新たな取り組みを通じて、マラソンムーブメントの更なる盛り上げを図っていきます。

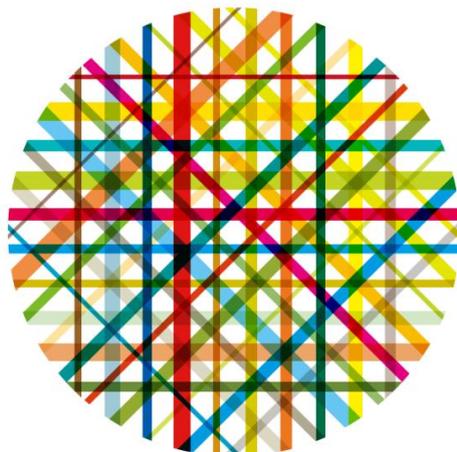
記

- 1 大会ロゴリニューアルのお知らせ！（資料 3 参照）
- 2 車いすマラソン国際レースを実施（資料 4 参照）  
現役トップアスリート副島正純選手が車いすレースディレクターに就任！
- 3 マラソンの定員を 1,000 人増加（10 回大会限定）  
※35,500 人（2015 大会）→36,500 人（2016 大会）に増加！
- 4 RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016（資料 5 参照）  
準エリート（国内）に続き、準エリート（国外）と一般がスタート
- 5 外国人ランナーへのおもてなし強化  
多言語対応ボランティア約 700 人募集！（11 月中旬予定）

この他、10 回記念の特別企画を実施予定です。  
詳細は、決まり次第お知らせいたします。

●10 回記念大会プロジェクト

東京マラソン2016  
大会ロゴリニューアルのお知らせ！



# TOKYO MARATHON 2016

一般財団法人東京マラソン財団は、10 回目を迎える「東京マラソン 2016（平成 28 年 2 月 28 日（日）開催）」を記念して、大会ロゴをリニューアルしました。

このロゴに含まれた異なる線のひとつひとつは、「走る喜び」「支える誇り」「応援する楽しみ」などそれぞれの価値観や目的を持って東京マラソンに参加するランナーやボランティア、観衆の一人一人を表しています。一本一本の線が織りなすこのロゴは、東京マラソンという舞台でひとつひとつの想いや様々なストーリーが織り重なることでひとつの大きな感動を生み出す東京マラソンの大会コンセプト「東京がひとつになる日。」を表現しています。

また、このロゴは色や線などの組み合わせで柔軟に変化します。これは枠にとらわれることなく変化し、進化していく人々の可能性を表現しています。

東京マラソンは、この新しいロゴとともに、10 回記念大会に向けて新たにスタートします！

●10 回記念大会プロジェクト

**車いすマラソンレースの国際化（IPC公認予定）  
現役トップアスリート副島正純選手が車いすレースディレクターに就任**

東京マラソン財団は、10 回目の記念大会となる「東京マラソン 2016（平成 28 年 2 月 28 日（日）開催）」から、車いすマラソンレースを国際パラリンピック委員会（IPC）公認大会として開催する予定です。

現在、IPC に申請中ですが、公認取得によりパラリンピックに出場する為の公認記録が取得できる大会となります。また、現役の選手であり、国際的に活躍されている副島正純氏を車いすレースディレクターとして迎え、国内外で活躍する選手が競い合う世界最高レベルの車いすレースの展開を目指すとともに、車いすレースのレベルアップや、車いすレースの魅力を伝えていきたいと考えております。

なお、2017 大会からは、アボット・ワールドマラソンメジャーズ（AWMM）車いすマラソンレースシリーズに加わり、ポイント獲得対象レースとなります。

○概略

1 種 目	車いすマラソン（エリート）
2 公 認	国際パラリンピック委員会（IPC）（予定）
3 コー ス	東京マラソン 2016 と同様（日本陸上競技連盟／ AIMS 公認コース）
4 対象クラス	T53・T54
5 制限時間	男子 1 時間 50 分、女子 2 時間 00 分
6 参加人数	30 人

○副島 正純（そえじま まさずみ）車いすレースディレクターからのメッセージ

世界のトップアスリートと戦える場が東京という日本の首都に出来たということがとても意義があり、素晴らしいことと感じております。私自身、東京マラソンは第 1 回大会から連続で参加しています。特に第 1 回大会は寒い雨の中で過酷なレースとなりましたが、たくさんの声援に後押しされ、記念すべき最初の大会で優勝することが出来ました。その後の東京マラソンでも貴重な体験が出来たと思います。

そしてこの度、第 10 回大会を迎える東京マラソン 2016 は、車いすマラソンの IPC 公認大会（国際化）として開催することになります。それに伴い、私は車いすレースのレースディレクターに就任いたしました。この大役を任された私の使命として、世界のトップアスリートを招聘し、日本人選手、外国人選手との白熱したレベルの高いレース展開や、コース沿道の観客の皆様などをはじめ、多くの方に車いすレースの魅力を伝えていきたいと考えています。

また、2020 年のパラリンピックに向けて、チャレンジする若手アスリートが東京マラソンで活躍し、世界に挑んでいける環境となるように東京マラソン車いすレースを盛り上げていきます。

## 副島正純（そえじま まさずみ） プロフィール

1970 年生まれ。長崎県諫早市に在住。

23 歳の時、家業である鉄工所を手伝い中に鉄板落下の事故により脊髄を損傷し、車いすの生活となる。入院中に障害者スポーツと出会い、スポーツの楽しさに魅了され、車いすマラソンを開始。

2007 年からは毎年アボット・ワールドマラソンメジャーズ大会に出場し、東京マラソン、ボストンマラソン、ニューヨークシティマラソン、ベルリンマラソンなどの多くの大会で優勝している。

2014 年 4 月、自身も世界トップアスリートとして活動しながら、一般社団法人を立ち上げ、車いすの子供たちが世界レベルの競技者を目指せるような環境の提供と指導を行い、子供たちのチャレンジをサポートしている。



### ○主な戦歴○

東京マラソン優勝（2007～2009・2011・2013）、アテネパラリンピック 400m×4 リレー銅メダル（2004）、世界陸上選手権大阪大会 車いす 1500m 銀メダル（2007）、ロンドンパラリンピック マラソン 4 位（日本人最高位）（2012）、ニューヨークシティマラソン優勝（2011）、ボストンマラソン優勝（2007、2011）、ベルリンマラソン優勝（2007、2010）、ホノルルマラソン優勝（2005～2010、2013、2014）

### ■アボット・ワールドマラソンメジャーズ（AWMM）車いすシリーズもスタート！

東京・ボストン・Virgin Money ロンドン・BMW ベルリン・Bank of America シカゴ・TCS ニューヨークシティマラソンの 6 大会で構成されるアボット・ワールドマラソンメジャーズ（以下、AWMM）は、同シリーズの出場選手としてエリート車いす選手を含めるべく、シリーズを拡張することが決定しました。男女優勝者は 6 大会において獲得したポイントをもとに毎年決定され、5 万ドル（約 600 万円）の賞金が男女双方の優勝者に贈られます。2016 年 4 月のボストンマラソン（米国のロードレースとして初めて、1975 年に車いす選手の参加を認めた大会）から開始となる新シリーズは、その開始と終了が各 AWMM 大会（東京、ボストン、Virgin Money ロンドン、BMW ベルリン、Bank of America シカゴ、TCS ニューヨークシティマラソン）の中でローテーションする仕組みとなっています。AWMM シリーズ 10 は、2016 年 4 月のボストンマラソンで始まり、翌 2017 年 4 月のボストンマラソンで終了します。

※ポイント加算についてパラリンピック大会および国際パラリンピック委員会（IPC）の世界選手権大会が開催される場合には、シリーズの対象大会となります。ポイントシステムは現状の AWMM のルールに従いますが、獲得ポイントとして加算される大会の数が異なります。シリーズにパラリンピックおよび IPC 世界選手権大会が含まれない場合には、対象 7 大会中、最大 4 大会のポイントが加算されます。シリーズに上記大会のうちいずれかが含まれる場合には、対象 8 大会中、最大 5 大会のポイントが加算されます。

※本件は、4 月 17 日 3 時 30 分頃（日本時間）に AWMM よりプレスリリースされています。

## ●10 回記念大会プロジェクト

## RUN as ONE – Tokyo Marathon 2016 準エリート（国内）に続き、準エリート（国外）と一般がスタート

東京マラソン 2016（平成 28 年 2 月 28 日（日）開催）の「RUN as ONE – Tokyo Marathon 2016」プログラムでは、国外在住の方も「準エリート」として東京マラソンに参加可能となります。

また、日本陸上競技連盟公認大会以外の国内大会とも広く提携し、各大会から選出された一般ランナーも参加いただきます。

このプログラムを通じ、一般ランナーの競技力向上や全国的なマラソンムーブメントの盛り上げを、目指します。

### 「RUN as ONE – Tokyo Marathon 2016」 実施概要

#### ・「準エリート（国内）」

- 出場対象 : 国内在住者（国籍は問わない）で、提携陸上競技協会・提携大会からの推薦を受けた日本陸上競技連盟に登録しているランナー（各都道府県から 50 人以内）
- 推薦基準タイム : マラソン 男子 2 時間 55 分以内、女子 3 時間 40 分以内  
30km 男子 2 時間 00 分以内、女子 2 時間 30 分以内  
ハーフ 男子 1 時間 21 分以内、女子 1 時間 45 分以内  
10km 男子 35 分以内、女子 40 分以内

#### ・「準エリート（国外）」

- 出場対象 : 国外在住者（国籍は問わない）で、2014 年、2015 年に実施された下記対象レースで基準タイムをクリアし、記録を証明するための公式記録（リザルト）を提出できるランナー（200 人以内）  
【対象レース】
  - ・ IAAF のゴールド・シルバー・ブロンズラベルの大会
  - ・ AIMS 公認大会
 ※東京マラソン財団にて厳正なる選考を行い、選考結果を通知
- 推薦基準タイム : マラソン 男子 2 時間 55 分以内、女子 3 時間 40 分以内

#### ・「一般」

- 出場対象 : 各提携大会から選出されたランナー（各提携大会から 3 人程度）  
※提携大会は以下の条件を満たす大会から公募  
（公募期間：平成 27 年 4 月 1 日～7 月 31 日）
  - ・ 日本陸上競技連盟「公認コース」取得の 10km・ハーフマラソン・30km・マラソン大会
  - ・ 計測を実施している大会
  - ・ 継続して 3 年以上、もしくは 3 回以上の開催実績がある大会
  - ・ 参加者が 1,000 人以上の大会

## 東京マラソン2016チャリティ (Run with Heart) ～7月1日(水)より寄付金及びチャリティランナーを募集開始～

一般財団法人東京マラソン財団は、「東京マラソン 2016 チャリティ」の、寄付金及びチャリティランナーの募集を7月1日(水)より、開始いたします。

今年度より、東京マラソン 2016 チャリティの総称を「Run with Heart」としました。

また昨年に引き続き、東京マラソン 2016 チャリティ・アンバサダーとして、元ビーチバレー日本代表の朝日健太郎さんをはじめ、元サッカー日本代表の北澤豪さんや今回初参加となる元マラソン日本代表の大島めぐみさんらにも、チャリティランナーを目指し、クラウドファンディングを活用しながら東京マラソン 2016 チャリティを盛り上げていただきます。

つきましては、上記3人によるメッセージと「東京マラソン 2016 チャリティ」の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

### ○東京マラソン 2016 チャリティ・アンバサダー

#### 朝日健太郎 (あさひ けんたろう) さん

(元ビーチバレー日本代表) 寄付先/スポーツレガシー事業

2016 年も、東京マラソンへチャリティランナーとしての参加を目指します。気がつけば4度目の挑戦になりました。年に一度の東京マラソンです。私は一年を通してチャリティへの協力、ライフワークとしてのチャリティへの参加が醸成されていたように感じています。自分自身が東京マラソン完走を目指しチャレンジする事は、周囲の方々からの協力が必要不可欠です。その協力の一つの形として、チャリティがあります。この成果が、2020 東京五輪、そして未来の子供たちへつながる手助けになってくれることを願っています。今回もよろしく願いいたします。



#### 北澤豪 (きたざわ つよし) さん

(元サッカー日本代表) 寄付先/公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

私はサッカーを通じて、たくさんのチャンスと世界中に多くの友達を得ることができました。スポーツは1人で出来るものではなく誰かの支えがあって出来るものです。病気と闘うこどもとご家族の滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の活動を支える“チームの輪”・スポーツを通じた“チャリティの輪”を少しでも広げたい。

2014 年、2015 年に続き、走ることでチャリティに関わる“チームメート”を増やしたい。東京マラソン 2016、3 回目のチャリティランナーとしての参加を目指します。



#### 大島めぐみ (おおしま めぐみ) さん

(元マラソン日本代表) 寄付先/スポーツレガシー事業

「世界と戦うことのできる選手」を目指し、マラソンにチャレンジしてきました。マラソンはスタートラインに立つことも難しいと言われるますが、私が今までマラソンを走れたこと、結果を出せたこと、それが出来たのも周りで支えてくださった方達がいたからです。そんな私が今できることは何かと考えたときに『若い世代に伝えること』それが一番なのではないかと思いました。多くの方に支えてもらったことを、自分の経験してきたこと、感じたことを若い世代に伝えていくことで未来のアスリートの育成につながると信じています。この活動を通じて世界を目指すアスリートの未来につなぐためにチャリティランナーにチャレンジをします！



### ○東京マラソンチャリティについて

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催してきた東京マラソンはランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちの心をつないで大きく成長してきました。2011 大会からは、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、“つなぐ”をコンセプトにチャリティを実施しています。

開始して 5 年目（2015 大会）で、当初の目標であった寄付金 3 億円を達成し、累計の寄付金総額は 10 億円を突破しました。

自分が選択した「寄付先事業」に対し、自分の想い（寄付）だけでなく、友人や仲間の想い（寄付）も集めて皆さまの想いを“つなぐ”ことで、多くの方々が東京マラソンのチャリティに参加していただけることを期待しています。

### ○総称「Run with Heart」について

東京マラソンを通じて、「ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい（社会貢献）」という願いを込めて、東京マラソンチャリティの総称を『Run with Heart』としました。走ることで社会貢献するというチャリティ文化を日本に根付かせることを目指し、様々な活動を行っていきます。

#### ■寄付金及びチャリティランナー募集要項

名 称：東京マラソン 2016 チャリティ

寄付先事業：別紙寄付先事業参照

#### ●寄付のみ：

募集期間：平成 27 年 7 月 1 日(水)10 時 00 分から平成 28 年 3 月 31 日(木)17 時 00 分まで

金 額：任意 ※事務手続きの関係上、1 万円単位での受付となります。

※クラウドファンディングシステムは、1 千円単位での受付となります。

#### ●チャリティランナー：

募集期間：平成 27 年 7 月 1 日(水)10 時 00 分から 11 月 13 日(金)17 時 00 分まで

募集人数：先着 3,000 人

資 格：10 万円以上の寄付をいただいた方で、希望される方

（東京マラソン 2016 の募集要項の資格を満たした方）

※「東京マラソン 2016」参加料 10,800 円は、別途ご負担いただきます。

※法人寄付の募集締切は 11 月 4 日(水)17 時 00 分まで。

※詳しくは <http://www.runwithheart.jp> まで

【一般の方の問合せ先】

東京マラソンチャリティお問い合わせ事務局

電話：03（5474）2091（平日 10 時 00 分～17 時 00 分）

### 寄付先事業一覧

#### ○一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

スポーツの夢（強化育成）・スポーツの礎（環境整備）・スポーツの広がり（普及啓発）・スポーツの力（社会貢献）の 4 つのテーマに基づき、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

#### 【活動内容】

若手アスリートを対象とした人材育成・キャリア支援（強化育成）をはじめ、障害者スポーツの振興（普及啓発）、スポーツを軸とした被災地支援（社会貢献）、スポーツを楽しむ施設の整備（環境整備）

○**特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会**

紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかける国連の難民支援機関です。

【活動内容】

紛争で故郷を追われた難民の命を守るテントの設置

○**公益財団法人スペシャルオリンピックス日本**

知的障害のある人たちに年間を通じて様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

【活動内容】

知的障害のある人たちへのスポーツ活動の提供・普及

○**公益財団法人そらぶちキッズキャンプ**

小児がんや心臓病等の難病とたたかう子どもたちと家族を医療ケア付キャンプ場に無料で招待し、北海道の豊かな自然の中で遊ぶことができる施設を、多くの人々の寄付やボランティアの力で運営をしています。

【活動内容】

難病とたたかう子どもたちと家族を、夢の医療ケア付きキャンプ場に招待

○**公益財団法人東京都スポーツ文化事業団**

年齢や障害の有無に関わらず、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるよう、みなさんのライフステージにあった様々な事業を展開していきます。

【活動内容】

都民のスポーツの普及・振興

○**公益財団法人東京都農林水産振興財団**

東京都における農林水産業の担い手となる後継者の確保育成や農林水産業の振興、森林保全整備、緑化推進事業等を実施しています。

【活動内容】

花粉の少ない森づくり：スギ林の伐採と花粉の少ないスギの植栽によるスギ花粉の削減

○**公益財団法人東京防災救急協会**

都民の生命、身体及び財産を災害等から保護し、地震等の災害による被害を軽減することで、社会公共の福祉の増進に寄与し、安心して暮らせる社会の実現を目的とする団体です。

【活動内容】

防火・防災・救急業務関係者の育成並びに都民の防火・防災・救急に関する意識と行動力の向上

○**公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン**

病気と闘う子どもとそのご家族の為の滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の設置・運営を行う公益財団法人です。

【活動内容】

『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の設置と運営、ボランティアの育成

○**公益財団法人日本障がい者スポーツ協会**

障がいのある人のスポーツ環境を整え、日本の障がい者スポーツの発展、ひいては活力ある共生社会の創造を実現していけるよう、新たな決意を持って取り組んでいます。

【活動内容】

障がい者スポーツを通して日本の明るい未来を育てる事業

○**認定特定非営利活動法人ファミリーハウス**

ファミリーハウスは日本で最初に重い病気の子どものための滞在施設を建設した団体です。

【活動内容】

重い病気のこどもが治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア

○**公益財団法人プラン・ジャパン**

アジア・アフリカ・中南米の途上国 51 カ国で、子どもとともに地域開発を進める国際 NGO。教育や保健など多岐に渡る分野で、貧困地域に暮らす子どもたちの生活改善のために、様々なプロジェクトを実施しています。

【活動内容】

インドの女の子たちに奨学金の支援事業

○**公益財団法人山梨県緑化推進機構**

緑化事業の推進と緑化思想の高揚を図り、森林整備等を推進することにより、緑豊かな県土づくりと国際緑化に寄与することを目的としている組織です。

【活動内容】

森林整備で未来の水を守る水源の森再生事業

○**東日本大震災復興支援事業**

寄付金は東京マラソン財団で受け、被災地 3 県の育英事業へ充てる予定です。

東日本大震災にて肉親を失った親を亡くした子どもたちが今後も健やかに成長できるよう、安定した学びの機会や夢・希望をもって欲しいとの願いを込めて暖かい支援をおくり被災地 3 県の子どもたちの支えとなります。

## 東京マラソン財団「スポーツレガシー事業」について (東京マラソンチャリティ)

一般財団法人東京マラソン財団では、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定したことを契機に、前回大会(東京マラソン2015)からチャリティ事業の一環として「スポーツレガシー事業」を立ち上げ、スポーツの夢(強化育成)・スポーツの礎(環境整備)・スポーツの広がり(普及啓発)・スポーツの力(社会貢献)に基づきスポーツを応援するために寄付を募っております。寄付先や用途については、スポーツレガシー事業運営委員会にて協議し、決定していきます。

引き続き、2016大会においても寄付を募集していきます。

### ◇2015大会寄付金用途

#### ①若手アスリートの人材育成(スポーツの夢) 寄付先 日本陸上競技連盟

##### ○世界を舞台にリーダーシップを発揮できるアスリートの発掘、育成を支援

- ・U19、U23オリンピック育成競技者やダイヤモンドアスリート等の、未来のトップアスリートの発掘、育成に寄与。
- ・「ダイヤモンドアスリート認定制度」の対象者に対し、競技力向上だけでなく、豊かな人間性を持つ国際人育成のための個を重視した育成プログラム(ダイヤモンドアスリートプログラム)の中で、リベラルアーツプログラム(教養・キャリア教育)を実施。

※寄付者やチャリティランナーには、日本陸上競技連盟が主催する陸上大会への招待、競技解説や、アスリートと寄付者の交流(兼報告会)などを実施予定

#### ②障害者スポーツの振興(スポーツの広がり) 寄付先 東京都障害者スポーツ協会

##### ○東京都障害者スポーツ協会を通じた競技団体等の支援

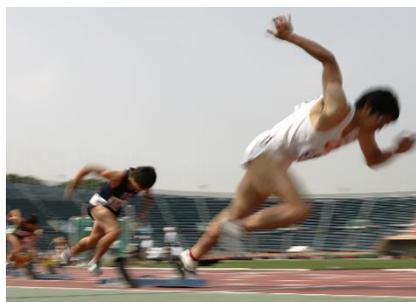
- ・競技団体に助成金を交付し活動を活性化。障害者スポーツの競技人口拡大を図る。
- ・東京都障害者スポーツ協会が主催する講習会を通し、各団体の運営強化を支援する。

※寄付者やチャリティランナーには、東京都障害者スポーツ大会を楽しんでいただく機会を提供予定。

#### ③スポーツを軸とした東日本大震災の被災地支援(スポーツの力) 寄付先 岩手県

##### ○岩手国体の財政支援

- ・国内最大の総合的なスポーツの祭典であり、開催県の創意と独自性の発揮の場である国民体育大会(国体)。東日本大震災後初めて東北で開催される国体・全国障害者スポーツ大会「2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」への寄付を通し、大会の盛り上げと、地域の活性化に貢献



若手アスリートの人材育成



障害者スポーツの振興



岩手国体・全国障害者スポーツ大会  
H26.6.29 国立競技場座席取り外し  
ボランティア活動の様子

### ◇スポーツレガシー事業運営委員会

- ・委員長 早野忠昭(はやの ただあき) 東京マラソンレースディレクター
- ・委員 為末大(ためすえ だい) 元プロ陸上選手
- ・委員 大嶋康弘(おおしま やすひろ) 日本陸上競技連盟 事業部長
- ・委員 関口尚志(せきぐち ひさし) 東京都 オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部 調整課長

## 東京マラソン財団「スポーツレガシー事業」について

前回大会の東京マラソン 2015 チャリティから、寄付先のひとつとして「スポーツレガシー事業」が加わりました。

2020 年のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定したことを契機に、東京マラソン財団は4つのテーマを設け、スポーツの夢（強化育成）・スポーツの礎（環境整備）・スポーツの広がり（普及啓発）・スポーツの力（社会貢献）に基づいてスポーツを応援していきます。

### スポーツの夢（強化育成）

#### アスリートの強化、ジュニアアスリート育成、キャリア支援

スポーツの普及とアスリートの発掘・強化を目的としたスポーツ教室、強化トレーニング、また、指導者の養成研修などの支援に役立てます。



※ワールドクラスのマラソン大会に参加する日本人選手の活躍を応援していきます。

※イメージ写真

### スポーツの礎（環境整備）

#### スポーツ施設などの環境整備

ランニングを含むスポーツ全般の普及を目的に、ランニングコースやスポーツ施設などの環境整備に役立てます。



※2013年4月に東京都が開設したシンボルプロムナード公園ランニングコース

※イメージ写真

### スポーツの広がり（普及啓発）

#### スポーツ大会の支援および普及啓発

市民がスポーツに親しみ健康管理を行うといった、各々のライフステージに応じた健康づくりを支援する活動など、生涯スポーツを推進する活動を支援していきます。



※本大会の前日には、外国人との交流を目的とした「フレンドシップラン」、当日には親子で楽しみながら走る「ファミリーラン」が行われ、皆さんのライフステージにあったランニングライブを提供しています。

※イメージ写真

### スポーツの力（社会貢献）

#### スポーツイベント等を通じた社会的課題解決への試み

スポーツは、困難に直面している人々、若者や子どもたちに勇気・希望、そして夢を与える力を持っています。スポーツイベント等を通して、社会的課題解決への試みや、日本が元気になる環境づくりなどを支援していきます。



※東京マラソン2012寄付金の一部は、上記3大会の運営費などに充てられました。

## 東京マラソン2016 オフィシャルパートナー（協賛社）について

来年2月28日（日）に開催する「東京マラソン 2016」に向けて、大会をご支援いただく協賛社（オフィシャルパートナー）についてお知らせします。

平成 27 年 6 月 30 日現在

特別協賛 東京メトロ

協 賛 スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社

大塚製薬株式会社、ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、  
第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、

株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、  
アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc.、全日本空輸株式会社、  
カゴメ株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、  
コニカミノルタ株式会社、セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、  
株式会社 資生堂、

日本光電、広友ホールディングス株式会社、株式会社シミズオクト、  
株式会社東京ビッグサイト

オフィシャルパートナーの情報につきましては、公式ウェブサイトなどでお知らせしていきます。  
東京マラソン 2016 公式ウェブサイト <http://www.marathon.tokyo>

## 東京マラソン EXPO2016 8月3日(月)より出展社の募集開始

一般財団法人東京マラソン財団では、「東京マラソン 2016（平成 28 年 2 月 28 日（日）開催）」に先立ち、東京マラソン EXPO2016（平成 28 年 2 月 25 日（木）～27 日（土））を東京ビッグサイトにて開催します。

東京マラソン EXPO は、ナンバーカードをお渡しする 3 万 7,000 人のランナーの受付を行うとともに、ボランティアとして参加する人や沿道で応援する人たちなど、どなたでも入場無料でお楽しみいただけるイベントとして開催しています。

また、「RUNNING LIFE STYLE」を開催テーマに、ランニングのテーマパークとして、性別、年齢に関わらず、幅広い層の方々にご来場いただき、楽しんでいただけるようなコンテンツやコーナーの新設を検討しております。

つきましては、大会とともに 10 回目を迎える EXPO を一緒に盛り上げていただける出展社を下記の通り募集いたします。

### 記

名 称 東京マラソン EXPO2016  
募集期間 平成 27 年 8 月 3 日(月) から 10 月 30 日(金) まで  
※申込み状況により締め切る場合がございます。

開催期間 平成 28 年 2 月 25 日(木) から 27 日(土) まで

#### <出展ブース>

2 月 25 日(木)、26 日(金)

11 時 00 分から 21 時 00 分まで(入場は 20 時 30 分まで)

2 月 27 日(土)

11 時 00 分から 20 時 00 分まで(入場は 19 時 30 分まで)

#### <ランナー受付>

2 月 25 日(木)、26 日(金) 11 時から 20 時 30 分まで

2 月 27 日(土) 11 時から 19 時 30 分まで

#### <申込方法> 東京マラソン 2016 公式ウェブサイト内 EXPO ページ

<http://www.marathon.tokyo>

#### <出展に関するお問合せ>

東京マラソン EXPO2016 出展社事務局（7 月 1 日(水)から開局いたします。）

電話：03（5500）6644（平日 10 時 00 分～18 時 00 分）

※出展社募集要項については、7 月下旬に公式ウェブサイトに掲載予定。

#### ○東京マラソン EXPO2015 実績

来場者数 103,330 人（過去最高） 出展ブース数 114 団体

